
東京都青少年健全育成条例改正案について真剣に考えてみた

黑影 美野

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東京都青少年健全育成条例改正案について真剣に考えてみた

【Nコード】

N6638P

【作者名】

黒影 美野

【あらすじ】

四人の兄弟が東京都青少年健全育成条例改正案について話合ったよ
うです。

(前書き)

真剣に考えてみた

都輝夜

「いや、まあ……お決まりのパターンですね、相手に合わせて驚いたけど、知らないっていう……現実そんな事する人初めてみたわ」

かがみ すいしやう
鏡・推晶

「『東京都青少年健全育成条例改正案』っていうのは、大雑把に言っちゃうと東京都当局が青少年に悪影響を及ぼすと判断した、不健全な作品、所謂、不健全図書の販売を規制するって法案なのだ、『2010年の3月頃に石原知事が、暴力表現・反社会的表現を含んだ作品への規制強化と共に児童ポルノ撲滅運動の一環として、『非実在青少年』による性的表現を含んだ作品も規制していく』ってやつなのです。」

朱雀

「ちよつとまで、非実在青年って何だ？」

都輝夜

「東京都当局が作った新造語や……年齢又は、服装……まあ学ランとかやな、あと、所持品・学年・背景・人の音声による描写から十八歳未満として表現されていると認識されるキャラクターを指すんやて」

鏡・推晶

「しかも、面倒臭いことに設定上成人してるキャラであっても『外見が十八歳未満』にみえたら、それも含まれるんだって」

朱雀

「……で、結局どうなるんだ？」

都輝夜

「んなん、決まってるやる……該当キャラの下着姿・裸体、その他、この美野たんはさっきも言ったくせに言うのを拒む表現がある場合……つまり、『不健全と認定されたもの』はア……！！発行及び、発売の禁止などの規定を受けてしまっやア……！！！！！」

鏡・推晶

「「つまり、同人誌をよく読んで、関西から東京まで来た時に池袋やらで同人誌を入手する都輝夜姉エちゃんや美野ちゃんは、池袋で同人誌を半額とかで買えなくなっって、経済的にもやばくなっちゃうわけ」」

都輝夜

「ついでに……！！ジャンプで『いぬまるだし』や『ワンピース』『ブリーチ』に『ぬらりひよんの孫』あと、『リボーン』……！！そしてエ……！！『銀魂』まで読めなくなっってしまうやアアアアア……！！！！！！！！」

朱雀

「ちよつと待て、確か銀魂はそんな描写とかあんまりねエだろ？主人公20代だし、絵的にも今は昔みたく、18とか19くらいに見えるわけでもないし……」

都輝夜

「神威・神楽・新八・沖田……そしてお妙の姐さん……！！！！全員十八歳以下やん……！！」

鏡・推晶

「神威さんの年齢知らないけどね、外見が成人に見えないし……」

朱雀

「なる程……」

都輝夜

「そして、さっきも言ってんやけど、同人誌やらアンソロジーもこの法案に触れてしまう……、きつとコミケも該当する……」

鏡・推晶

「僕（俺）達はよく知らないんだけど、これで、ゲームとかも該当したら、世界中から娯楽物が消えちゃうし、大変なんだア……、脳トレとか学力ゲームだけになったら、逆に子供が非行に走ったり、都庁に対して悪意しか持たなくなったり……」

朱雀

「でも、俺等地方に住んでる奴等は大丈夫なんじゃねエか？東京都だけの条例だろ？」

都輝夜

「なんやて……朱雀、お前、今なんつった『東京都だけやる？』んなのおもとの奴が一番痛い目あうんやで！！！！東京都つつうんところは、企業が集中してる、ゲーム会社・出版社・アニメ製作会社その他もろもろの本社もそつや、そりゃ、地方にある会社もたしかにあるけど、そんなんと東京に本社構えてる企業とやつたら、やっぱ東京の方が多いやろ……」

朱雀

「……………」

鏡・推晶

「多分、これは東京だけじゃなくて、国全体の問題だともうよ」

都輝夜

「日本の漫画やアニメ程美しい作品は、世界に誇れる、日本の文化やで？元々日本は『表現の自由』っていう、法律がちゃんとあるのに……………」

朱雀

「……………そう思うと、このさき、日本はどうなるんだろうな……………」

鏡・推晶

「破滅じゃね？？」

都輝夜・朱雀

「怖い事をさらっというな……………！」

スパーン

二人が鏡と推晶の頭を叩く

都輝夜

「ま、兎に角だ……………日本のジャンプ・サンデー・マガジン……………」

ガンガン・リボン・コロコロ・マーガレット、その他もろもろの週刊誌・月刊誌やアニメ製作会社、アニメイト・虎の穴なんかの専門販売店、とある魔術の禁書目録・とある科学の超電磁砲・灼眼のシヤナ・デュラララ!!!・狼と香辛料・我が家のお稻荷様、などの電撃文庫!!!!!!そんな会社に影響が出るんだ!!!!!!!!!!!!」

都輝夜

「しかも!!!!!!ここからはウチの予想やけど、初音ミク・鏡音リン・レン・KAITOなどのボーカロイドの皆様!!!!!!此方も影響が出る可能性が!!!!!!」

朱雀

「.....それもう、農民一揆みたいに一揆起こしちゃえよ」

鏡・推晶

「「業界・国民一揆??条例革命???」」

都輝夜

「まア、それでもええねんけど.....」

朱雀

「何か問題でもあんのか?」

都輝夜

「日本全国&世界各国のアニメ&漫画&ボカロ&ゲーム(BL・乙女含む)ファンの皆様をどうやって纏め上げるか.....」

朱雀

「んなの、ネット社会なんだからネットを使えばいいじゃねエか」

都輝夜

「何千万人いると思ってんどの……………」

朱雀

「あ……………」

都輝夜

「でも、まア、業界の方々のボイコットしたりしてくれてはるし、ウチ等も何かできる事したいな」

鏡・推晶

「都庁の条例をボイコットしたらいいんじゃない（ねエの？）ないですか？」

都輝夜

「そうすると、世間体がな……………んな事して、世間体を崩してまうと、逆に不利になる」

朱雀

「じゃあどうすんだよ」

都輝夜

「デモ行進……………も、世間体を悪くするか……………」

鏡

「え？じゃ、じゃあ、学校の授業をボイコットするとか……………は？」

都輝夜

「それもいいんやけど、集団でボイコットしないと意味が無いな・・・
・・・そうやな、日本中の学生がボイコットするやとか・・・
・・・って!!!これ見て集団ボイコットとかやめてや!!!いい、居
た堪れなくなるというか・・・なんというかやから!!!!!!」

朱雀

「んじゃア、どうするんだよ」

スツ（襖が開いた）

龍野^{りゅうや}

「テムエ等、何、話あってんだよ」

都輝夜

「あ、龍野お兄ちゃん」

鏡・推晶

「「龍野兄イちゃんだ」」

朱雀

「龍野」

都輝夜

「いやですね、東京都知事が東京都青少年健全育成条例改正案を可
決しちゃったな〜って話ですよ」

鏡・推晶

「「それで、どうしたらソレをやめさせて、世界を平和にできるか
って会議」」

龍野

「は？トウキョウウトチジ？？なんじゃそりゃ」

朱雀

「あゝ……俺達の世界の首都で、江戸と同じような所のことだ、で、知事ってのはそこのお偉いさん」

龍野

「なる程な……んにしても世界を平和って、大それた事言い出したな東京都青少年健全育成条例改正案つつうのは、んなに大変な事なのか？ってか、なんだそれ」

都輝夜

「へ〜と……かくかくしかじか、こついう法案でこれが可決されちゃったからかくかくしかじかのこついう事になっちゃうわけ（必死にさつきまで話してた事を説明中）〜しばらくお待ち下さい〜」

龍野

「なる程な、確かにそりゃ大変だわ、ジャンプ読めなくなんのは」

朱雀

「そんだけなんだ……」

都輝夜

「そやねん 」否定しねエのかよ!!!!!!」それで、それについて、どうやって訴えればいいんやろうかって……………」

龍野

「んなの、簡単じゃねエか」

鏡・推晶

「「どうやるん???」」

龍野

「署名だよ、署名」

都輝夜

「署名?」

龍野

「そうだ署名だ、アニメ・漫画ファンやそういう業界の従業人・営業人なんざ俺等みてエな二次元の連中除いても、数十万・数百万はいるだろ?世界も全部あわせりゃ、それこそすげエ数の奴がな……
・…ってエ事は、 時 分から××駅前で東京都青少年健全育成条例改正案に対する反対署名活動を行いますとか公表して署名集めて、集まった署名を都庁に提出すりゃいい数十・数百万も署名が集まったら、もう認めざるおえねエだろ?」

朱雀

「なる程……………」

都輝夜

「で、でも！！可決される前からそう言つのを集めて提出とかしてたら??それでも可決されちゃったてたんだつたら?!」

龍野

「デモでもボイコットでも起こしやいいだろ?.....なん何十万もの反対を押し切つて可決なんざしてる法案は都や民衆の為の法案じゃねエからな、それに、今の世の中、難しい漢字や難しい用語に丁寧に説明つけてくれる読み物なんざ漫画とかラノベとかだけだる、読みが書いてあつても、一部分だけとかが普通の小説には多いからな、そういう意味じゃ身近にある教材だよ漫画やらラノベやらそういうのは」

都輝夜

「何か説得力があるな.....」

龍野

「それに、東京都青少年健全育成条例改正案のせいで、漫画やらゲームが無くなって学生なんか授業ボイコットやら非行に走つてみる、それこそ、日本終了だぜ?はははっ、滑稽だア」

都輝夜

「怖い事、真顔でいわんといてエヤ!!!!!!ホンマに怖っ、マジで怖っ」

龍野

「ま、それでなくとも日本はまた、世界に置いてかれ始めてんだ、日本が誇る事のできる文化を無くしちゃったらなるめエよ」

朱雀

「なる程.....」

龍野

「ま、政治やら法律やら守って根気よく頑張ればいい、何も行動を起こさなけりゃ何もかわらねエからな」

朱雀・鏡・推晶・都輝夜

「「「「解った!!!!!!」」」」

龍野

「よし、じゃア俺は書類片付けに行くかな」

都輝夜

「そっいや、龍野お兄ちゃんって今何歳だったっけ？」

龍野

「あ?・・・確か16・17・18・・・そのあたりだったと思うぜ?それがどうかしたか?」

都輝夜

「・・・・・・・・・・いや・・・な、何でも無い」

龍野

「あつそ、じゃアな」

スツ【襖を開けて出て行った】

朱雀

「・・・・・・・・・・」

鏡・推晶

「……………」

都輝夜

「……………やたらと、飲み込みはやかっただね」

朱雀

「そつだな……………(汗)」

鏡・推晶

「「僕(俺)達、宿題やつてくる……………」」

朱雀

「俺も……………」

都輝夜

「わ、私はPCで今の内容を世界に……………」

こうして、桜山の午後は過ぎて行く

(後書き)

訴える場合、都輝夜ちゃんも言っていた通り、あまり世間に非難され
れない方法で訴えましょう。

世間体が悪くなると、逆に不利になってしまいます。

あと、反対運動や署名などは反対意見の方々が一致団結しなければ
なりません、攘夷と一緒です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6638p/>

東京都青少年健全育成条例改正案について真剣に考えてみた

2010年12月30日22時12分発行